

嘉手納飛行場における横田基地所属C-130Jの予防着陸について（要請）

平成30年2月28日、標記の件について、北関東防衛局から、「11時30分頃、エンジンの不具合を認めたため、その後、嘉手納基地に予防着陸を行った。当該機の乗組員ならびに着陸先の人員に対する危険はなかった。」との情報が、東京都及び基地周辺自治体に提供された。

飛行中機体にトラブルが発生することは、一步間違えれば人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものである。

昨年も、横田基地所属機の部品遺失などが発生しており、その都度、安全確保の徹底等を要請したが、再びこうした事態が発生したことは、極めて遺憾である。

貴職においてはこのような状況を十分に認識され、下記のとおり対応するよう要請する。

記

- 1 事故の経緯を明らかにするとともに、原因究明を行い再発防止を図ること。
- 2 航空機の点検整備を強化するとともに、安全確保の徹底を図ること。
- 3 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

平成30年3月1日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
ケネス E. モス大佐 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	羽 村 市長	並 木	心
	立 川 市長	清 水	庄 平
	昭 島 市長	臼 井	伸 介
	福 生 市長	加 藤	育 男
	武蔵村山市長	藤 野	勝
	瑞 穂 町 長	杉 浦	裕 之